

	場面	指導と評価の計画
	方法	
	態	
	思・判・表	
	知・技	
		指導と評価の計画
		指導と評価の計画
		指導と評価の計画
		指導と評価の計画
		指導と評価の計画



こちらからダウンロードできます。

単元計画(指導と評価の計画)を作成する際に活用してください。

指導と評価の計画

令和4年3月 埼玉県教育委員会

運動好きな児童生徒育成のために

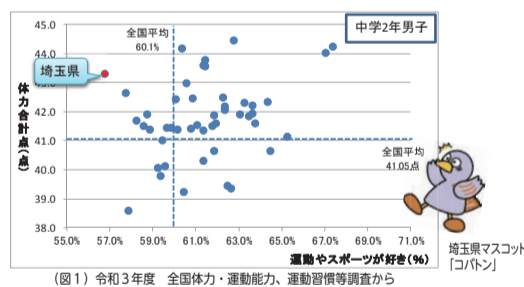
中学校

I はじめに

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を見ると、本県児童生徒の体力合計点は高い水準であるものの、「運動やスポーツが好き」という項目においては、全国平均を下回っています。(図1)

体育・保健体育科の目標である「豊かなスポーツライフ」を実現するためには、運動好きな児童生徒を育成することは重要です。そこで埼玉県教育委員会では、運動好きな児童生徒育成推進委員会を設立し、運動好きな児童生徒の育成を図っていくこととしました。

運動好きな児童生徒を育成するためには、日々の体育・保健体育の授業の充実が不可欠です。そのため、令和3年度は主に単元計画(指導と評価の計画)の作成に視点を当てたリーフレットを作成しました。



II 本リーフレットの活用にあたって

体育・保健体育の授業の充実を図るための視点として、令和3年度から全面実施となった学習指導要領(平成29年告示)では、「主体的、対話的で深い学び」に向けた授業改善が求められています。これらは、必ずしも1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではなく、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して授業改善を進めることが重要とされています。つまり、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を考えることは、単元や題材など内容や時間のまとまりをどのように構成するかというデザインを考えることに他なりません。

そこで、本リーフレットでは、単元計画を作成する際の考え方を示しました。年度初め、学期初め、単元開始前等に単元計画を作成する上での資料として活用してください。

III 単元を計画する前に確認しておくこと

運動の特性や魅力

- 主に機能的特性(生徒にとっての楽しさや喜びの視点を重視)

中学校学習指導要領解説保健体育編(平成29年7月)第2章第2節 各分野の目標及び内容に示されている各領域のリード文等を参考にしましょう。

生徒の実態把握

- 既習の学習内容及び定着状況

アンケートの実施やクラウド上のデータの整理等により実態を把握します。

目指すゴール像の設定

- 本単元を通して育てたい具体的な姿

資質・能力の三つの柱に基づいて設定します。

保健体育科の目標は、第1学年及び第2学年、第3学年の二段階で示されています。

中学校学習指導要領(平成29年告示)第7節 保健体育第2各学年の目標及び内容を確認しましょう。

そして、

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等

の三つの柱で学習する内容や目指すゴール像を明確にします。



「いつ」「何を」(学習内容の明確化)「どのように」指導し、「いつ」「何を」「どのように」評価するのか(指導と評価の一体化)を明確にしましょう!

時間	1～X			
ねらい 指導内容	見通す (期待感や挑戦意欲をもつ)	知って 考えて 学び合う (運動の行い方を知る・課題を把握して解決を図る)		振り返る (成長を実感する)
学習過程	「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく配置する			
	学習の見通しをもつ ・単元のゴール像 ・安全な行い方 ・試しの運動、ゲーム 楽しそうだな！よし！やってみよう！ よし！できるようになった！次はOOにチャレンジ！ 安全面の約束は…	【導入】主運動につながる運動をする ・感覚づくりの運動、補助運動や部分練習等（継続的に取り組み、自己の伸びが実感できる運動） 本時のねらいを確認する ・何を学習し、何ができればよいのかの提示 ・児童にとって必要感のあるねらいの設定 【展開】 ①運動の行い方を知る この技のポイントは… 今日はOOを学習するんだな。私は△△をがんばろう！ この運動はOOの動きにつながっていくんだな	②課題を把握する 自分の課題は… 仲間の課題は… OOさんのよいところは… さっきのゲームを振り返ると…	自己やチームの成長を実感する ・育成を目指す資質・能力の三つの柱に沿った振り返り ・学習カードやICT機器等による変容の可視化 次の単元へつなげる ・自己や仲間の変容への気付き 私ってけっこうがんばったな。
	【整理】本時の振り返り、まとめをする ・本時のねらいに沿った生徒による学習の振り返り及び教員のまとめ ・次時への見直し	③課題解決を図る ・OOしたことが楽しかった。 ・△△ができるようになってうれしかった。 ・次はもっと□□できるようになりたい。	④新たな課題に取り組む	
評価計画	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を単元を通して適切な機会に配置する。 ・1単位時間に評価（記録に残す評価）する項目は原則一つとし、指導したことを評価するが、大単元の場合は技能や主体的に学習に取り組む態度のように、習得や活用の段階等を踏まえて一定期間を置くなど、指導と評価の時期をずらして評価を行うことも考えられる。 ・単元前半で評価した項目が、単元終盤までによりよく変容していくように、指導の充実や改善を図るための評価とする。 ・「いつ」「何を」「学習過程のどの活動で」評価するのかについて整理する。方法としては、観察、発問、発表、学習カード、ICT機器などが考えられる。			

単元計画(指導と評価の計画)例【第1学年及び第2学年：跳び箱運動】

◎時間配分は生徒の実態等に応じて弾力的に設定する。

時間	1～X				
ねらい	跳び箱運動の特性や学習の進め方を知ろう。	技の行い方を知り、動き方のポイントを見付けよう。	自分に合った課題を把握し、練習の場を選ぼう	自分の課題に応じた場で練習し、技能を高めよう。 グループで動きを見合い、気付いたことを伝え合おう。	学習の成果を伝え合おう。(発表会、記録会等)
指導内容	学習の進め方、約束 跳び箱運動の特性や成り立ち 試しの運動	技の行い方 グループでの学習の仕方 共通の課題解決に向けた練習の仕方	課題発見の仕方 課題の発見 課題解決のための場の設定 補助の仕方	自己の課題に応じた練習 伝え合いの仕方 学習への積極的な取組	学習成果の伝え方 振り返りの仕方
学習過程	1 集合・挨拶・健康観察をする。 2 準備運動をする。 学習の見通しをもつ 3 学習の進め方、約束を知る。 ・単元のゴール像 ・安全な行い方 ・学習資料の使い方 等 4 跳び箱運動の特性や成り立ちを知る。 5 試しの運動をする。 ・易しい場 ・今できる力 6 用具の片付けをする。 7 本時の振り返りとまとめをする。 8 整理運動をする。 9 挨拶をする。	1 用具の準備をする。 2 集合・挨拶・健康観察をする。 3 ランニング・準備運動をする。 4 感覚づくりの運動をする。 5 ねらいの確認をする。 ①運動の行い方を知る 6 技の行い方のポイントを知る。 7 グループでの学習の仕方を知る。 ・ICTの活用の仕方 8 共通の課題解決に向けた練習に取り組む。	②課題を把握する 6 課題発見の仕方を知る。 7 自己の課題を発見する。 8 学習の場を設定し、補助の仕方を確認する。	③課題解決を図る 6 課題解決のための練習をする。 7 仲間の課題や出来映えを伝え合う。 ④新たな課題に取り組む 8 練習の成果を確認し、新たな課題に取り組む。 ※①～④のサイクルを繰り返す。	自己やグループの成長を実感する 次の単元へつなげる 6 学習成果の伝え方を知る。 ・演技発表や運営の仕方 7 学習の成果を伝え合う。 8 単元の振り返りをする。 ・自己の変容 ・仲間の変容 ※育成を目指す資質・能力の三つの柱に沿って振り返る
	個別最適な学び・協働的な学び × ICT機器の活用				
評価計画	知・技 ○	○	○	○	○
思・判・表 態	※①				
方法	観察, 学習カード	観察, 学習カード	学習カード, 観察	学習カード, ICT, 観察	観察, 学習カード, ICT
場面	5, 7	6, 8	6, 7	6, 7, 8	7, 8

※評価計画の○には「単元の評価規準」の番号を記します。